

TCB NewsLetter



撮影：大洞博靖

開幕から溢れる勢いと挑戦！ 再スタートにふさわしい4ステージ

次代を担う才能の育成を掲げる、創作公演「シティ・バレエ・サロン」。再スタートと新たな舞台様式への挑戦にふさわしく、第9回目を迎えた2020年は4作品4ステージの上演が実現しました。

海外からリモートでリハーサルに挑戦したゲスト振付家、ジョン・ヒョンイル振付『Two feathers』は、ピアノ演奏の「白鳥の湖」音楽やミニマルな衣裳で、レッスン風景をも連想させる作品。クラシカルなポジションに食らい付く新進のダンサー達が白鳥と黒鳥に扮し、日常と非日常の対比を表現しました。現場指導を務めたのは、公演監督のキム・ボヨン。ヒョンイル氏から届いた公演メッセージは、ぜひ当団公式YouTubeチャンネルをチェックしてください。

草間華奈振付『Life is...』は、一人の男性（石黒善大）がアルバムをめくり、懐かしい思い出が写真のように次々と飛び出す短編集。ダンサー達が確かな実力で繋ぐアンサンブルは澁刺と小気味良く、都度変わる曲調と繊細な振付で、詩のような草間作品を完成させました。

後半は一変し、当団のベテラン振付家が登場。“今”の葛藤を描いたのは、中島伸欣振付『檻の中で』。防護服に身を包んだ男女が噴射する霧の中で不安げに暗中模索し、ふと我に帰るように各々自然とアンサンブルへと流れていく。家族や恋人、また個人の孤独をダイレクトに表現することで、中島作品の真



ジョン・ヒョンイル『Two feathers』



石井清子『ノスタルジー』

骨頂である「人間味」を存分に提起しました。

石井清子振付の『ノスタルジー』は、再演を重ねる当団屈指のレパートリー。女性の群舞が場面を巡り展開しながらも、すべてが終曲へと纏まる美しいアンサンブル。石井がTCBスタジオカンパニーのダンサー達へプレゼントのように振り直しをし、今後も踊り継がれる作品となりました。

一時は公演開催も危ぶまれましたが、多くのお客さまにご来場いただき温かい感想をいただきました。記念すべき次回、第10回目にもご期待ください。



草間華奈『Life is...』



中島伸欣『檻の中で』

東京シティ・バレエ団 TOKYO CITY BALLET LIVE 2020
「シティ・バレエ・サロンvol.9」

日時：2020年11月7日（土）／8日（日）

会場：豊洲シビックセンターホール

主催：公益財団法人東京シティ・バレエ団

共催：公益財団法人江東区文化コミュニティ財団豊洲文化センター

about
Tokyo
City
Ballet

1968年日本バレエ界初の合議制バレエ団として設立。以来、古典と創作を両輪として上演している。1994年より東京都江東区と芸術提携を結び、ティアラこうとう（江東公会堂）にて提携公演を実施。当団ならではの多彩なプログラムを展開し、古典バレエの他、ウヴェ・ショルツ、イリ・ブベニチュク等の作品も意欲的に上演している。「Ballet for Everyone ～バレエの楽しさと豊かさをすべての人と分かち合う～」というビジョンの下、鑑賞教室や小中学校へのアウトリーチ活動、バレエの魅力を伝えるワークショップなども積極的に行っている。2016年公益財団法人設立。2018年に創立50周年を迎えた。

発行 2021年1月23日

発行所 公益財団法人東京シティ・バレエ団

〒135-0004 東京都江東区森下1-6-14 レックス森下303号室

phone：03-5638-2720 fax：03-3634-8845

<https://www.tokyocityballet.org/>

発行人 安達悦子

印刷・製本 Graphic

デザイン 坂東昌子

江東区の“くるみ”、特別バージョンで開催!



フィナーレ

日時：2020年12月19日(土)
 会場：ティアラこうとう大ホール
 指揮：井田勝大
 演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
 主催：公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 ティアラこうとう

芸術提携を結ぶ3団体が揃う秋の人気公演「オーケストラ with バレエ」。10月は延期となりましたが、なんと江東区の冬の風物詩『くるみ割り人形』を取り入れた特別バージョンとして、12月に上演が実現しました。第1部は東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団によるコンサート。井田マエストロ指揮のバレエ音楽「シルヴィア」等で、年の瀬にぴったりの華やかな演奏が繰り広げられました。第2部は、組曲形式で新演出の『くるみ割り人形』。舞台上の生演奏で魅せる、コンパクトながら迫力ある新演出は、江東くるみを初演から支えてきた石井清子の真骨頂。クララ役の庄田絢香、くるみ割り人形役の濱本泰然が軽やかに舞台を巡り、各ディベルティスマンには、思わず笑顔になる可愛い演出も。金平糖の女王は初役となる且股治奈がつとめ、確かなテクニックで舞台を彩りました。アンコールではサンタさんからのサプライズプレゼントもあり、会場は大盛況。ティアラこうとう初の有料配信も実施され、長年愛される「くるみ」をより多くのお客さまへお届けすることができました。



庄田絢香、濱本泰然

芸術家のくすり箱「公演ヘルスケアサポート」プログラム

芸術家がベストなパフォーマンスを継続できるよう、ヘルスケアの面から芸術活動をサポートする「NPO法人芸術家のくすり箱」。当団では、2015年から定期的にサポートプログラムに参加し、リハーサルから本番までの期間、医療者等の専門的なサポートを受け舞台へ挑んでいます。2021年1月公演「ウヴェ・ショルツ・セレクションII」では、20年12月15日のフィジカル・チェックからサポート



フィジカル・チェック

がスタート。現状のコンディションや身体能力のチェックから、本番に向けてのアドバイスが個別に行われました。また、芸術家のくすり箱では、ダンサーの特性を理解したトレーナーを育てる認定プログラムも実施しており、昨年12月には、その一環であるレッスンデモンストレーションを当団のダンサーが実施。ダンサーとトレーナーで共有する貴重な機会となりました。



バレエレッスンデモンストレーション

サポーターズクラブ TCB 会員募集中

サポーターズクラブTCBは、東京シティ・バレエ団の活動に賛同し、サポートしてくださるみなさまのための会です。会員になると、チケットのご優待(ブロンズ会員以上)、特別イベントのご招待、クリスマスカードなど、さまざまな特典がございます。ご入会をお待ちしております。

詳しくは東京シティ・バレエ団事務局までお問い合わせください。

tel: 03-5638-2720 / E-mail: contact@tokyocityballet.org

【年会費】(ほか法人会員あり)

ダイヤモンド会員	500,000 円
プラチナ会員	100,000 円
ゴールド会員	50,000 円
シルバー会員	10,000 円
ブロンズ会員	5,000 円
フレンズ会員	3,000 円

2021年 東京シティ・バレエ団公演&イベント情報

12月までの公演情報を、バレエ団からの見どころ・ポイントと共にご紹介！
2021年も多彩なプログラムをお届けします。どうぞご期待ください！

◆ 柳家花緑の落語バレエ 「鶴の池」×バレエ「白鳥の湖」

『白鳥の湖』の物語を江戸時代に置き換えた、柳家花緑による創作落語『鶴の池』。話芸で観客を惹きつける「落語」と、言葉を使わずに物語を伝える「バレエ」という、対極にある2つの芸術のコラボレーションが、4年ぶりにティアラこうとうに帰ってきます。
東京シティ・バレエ団のバレエと柳家花緑の落語が融合し、「大いなる愛の讃歌」に笑いを散りばめた『鶴の池』を、どうぞお見逃しなく！

日時：2021年5月22日(土) 15:00開演
会場：ティアラこうとう大ホール
料金：【全席指定】一般3,500円、ティアラ友の会3,150円、江東区民3,300円
主催：公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 ティアラこうとう
*チケット発売…2月10日(水)



落語 柳家花緑
オデット 清水愛恵
オディール 飯塚絵莉
ジークフリード王子 吉留諒
ロートバルト 濱本泰然

◆ 『白鳥の湖』～大いなる愛の讃歌～

創立翌年の1969年に、創立メンバーの故・石田種生が演出・振付した『白鳥の湖』。以来改訂をくわえながら主要なレパートリーとして上演を重ねてきた本作品。最大の見どころは、物語がクライマックスを迎える最終幕。オデットとジークフリード王子の真実の愛の力が引き起こす奇跡は、壮麗な音楽と相まって心揺さぶられる場面と、高い評価を受けております。どうぞご期待ください！

※通常美術での上演となります。

演出・振付：石田種生(フティバ、イワノフ版による)
再演出：金井利久
指揮：井田勝大
演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団



「ニッセイ名作シリーズ2021」バレエ『白鳥の湖』

日時：2021年7月5日(月)～9日(金) 全日13:30開演
会場：日生劇場
主催：公益財団法人ニッセイ文化振興会【日生劇場】
※本公演は中/高等学校向けのため一般販売はありません。

東京シティ・バレエ団『白鳥の湖』～大いなる愛の讃歌～

日時：2021年7月17日(土)／18日(日) 開演時間未定
会場：ティアラこうとう大ホール
料金：SS席10,000円、S席8,000円、A席5,000円
5歳以上入場可
主催：公益財団法人東京シティ・バレエ団
*チケット発売…4月9日(金)

◆ Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 ディレクターセレクション 落語×バレエ『おさよ』(落語版「ジゼル」)

クラシックバレエの名作『ジゼル』を江戸時代に置き換えた、柳家花緑による創作落語『おさよ』。落語バレエ「鶴の池」×バレエ「白鳥の湖」に引き続き、ティアラこうとうにて再演を重ねた本作を、横浜の舞台にて上演致します。5月公演とあわせて、是非ご覧ください！

日時：2021年9月23日(木・祝)
会場：県立青少年センター 紅葉坂ホール
落語：柳家花緑
主催：横浜アーツフェスティバル実行委員会
*チケット発売…〇月〇日(〇)



◆ フレッシュ名曲コンサート オーケストラwithバレエ

芸術提携を結ぶ東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と東京シティ・バレエ団のダンサーが同じ舞台で共演する「オーケストラ with バレエ」。通常のバレエ公演とは異なり、舞台上から奏でられるオーケストラ音楽とバレエをお楽しみいただける本公演は、毎年好評をいただいております。気になる上演演目は近日中に公開予定！

日時：2021年10月23日(土)
会場：ティアラこうとう大ホール
指揮：井田勝大
演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
主催：公益財団法人江東区文化コミュニティ財団
ティアラこうとう



◆ 「シティ・バレエ・サロンvol.10」

創立以来、古典の名作と共に100を超えるオリジナルな作品を生み出してきた東京シティ・バレエ団。「バレエ・フォー・エブリワン」の精神を掲げ、万人と表現の喜びを分かち合う場として、創作作品にフィーチャーした「TOKYO CITY BALLET LIVE」シリーズを毎年展開しています。ダンサーたちの呼吸や熱を感じる距離、そして背景に東京湾を臨む特殊なステージから届ける新たな才能の誕生を、どうぞお見逃しなく！

日時：2021年11月6日(土)／7日(日) 開催予定
会場：豊洲シビックセンターホール
主催：公益財団法人東京シティ・バレエ団



◆ 東京シティ・バレエ団／ティアラ"くるみ"の会 第35回『くるみ割り人形』

江東区芸術団体である東京シティ・バレエ団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と、オーディションで選ばれた「ティアラ"くるみ"の会」の子どもたち、そして江東区文化センターで育った江東区少年少女合唱団がひとつになって作り上げる本公演。石井清子(構成・演出・振付)を中心に、クリスマスシーズンに上演を重ね、本年度で35回目の上演となります。
江東区を拠点とするバレエ団・オーケストラと、バレエが大好きな子どもたちのティアラこうとうオリジナル「くるみ割り人形」をどうぞお楽しみに！

日時：2021年12月18日(土)／19日(日)
全3回公演 開演時間未定

会場：ティアラこうとう大ホール
指揮：井田勝大
演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
主催：公益財団法人江東区文化コミュニティ財団
ティアラこうとう

*チケット発売…10月10日(日)



ワンコインでバレエの楽しさを！

ワンコイン(500円)でご参加いただけるレクチャーコンサート、「ワンコインバレエ・バレエ・レクチャー」。これまで3回にわたり、江東区文化センター(江東区東陽町)にて開催し、TCBスタジオカンパニーに所属する新進気鋭のダンサーが出演。バレエの基本的動きやマイム表現等をレクチャーしました。
2020年度最終回となる第4回は、2021年2月25日(水)に開催予定。初めての方でもバレエを気軽に楽しみたいいただけます。お申し込みは江東区文化センターまで！



第1回「ワンコイン・バレエ・レクチャー」より 解説：信田洋子

東京シティ・バレエ団附属バレエ学校のご案内

当校は、バレエの道を目指す方を対象に、ダンス・クラシックを基礎として、バレエおよび舞台芸術に関する研究・研鑽を行っています。個々の能力を最大限に開花させ、質の高いバレエ芸術を創造する基礎をつくることを目的としています。

※豊洲教室についてはウェブをご覧ください

クラス名	レッスン日	時間	場所	入所方法	見学
クラスS	月(隔週)	18:30~20:00	森下スタジオ	年2回のオーディションにより選抜。 次回は2021年3月7日。	不可
クラスA	火・水・木・金	18:30~20:00	大島スタジオ		
クラスB	火・水・木・金	19:30~20:50	森下スタジオ		
クラスC	火・水・木・金	18:00~19:20	森下スタジオ		



撮影：鹿摩隆司

リレーコラム



しょうだ あやか
庄田 絢香
2014年入団



撮影：鹿摩隆司

絢香さんはクララやジュリエット、スワニルダなどさまざまな役を踊られています。いつも私が注目してしまうのは、感性豊かな表現力。見ていて心地よい音楽のとり方や呼吸、目の動きなど、ふとした瞬間まで繊細に使い分ける演技は何度見ても引き込まれます。そしていつも可愛らしく美的センスも抜群！ 毎日のレッスンでもキラキラオーラであふれていて、つい見惚れてしまいます。リハーサルの前後も熱心に何度も練習をし、何事にも一所懸命で芯が強く、すごいなあ……と日々刺激を受けています！

バレエ以外ではお互い大好きな猫の話で盛り上がった日も♪

これからの舞台も益々存在感光る絢香さんの踊りに注目していただきたいです。

ー バレエを習い始めたきっかけや年齢は？

3歳の頃お友達のバレエの発表会を観に行き、可愛い衣装に憧れて始めました。そこから、可愛い衣装は主役の衣装……もっとがんばらなきゃ！ とレッスンに励むようになりました。(笑)

ー レッスン着のこだわりは？

肌なじみ、踊り心地がよいものはもちろん、その時に踊っている役らしいものや、私らしいレオタードを選ぶようにしています。

ー 現在のマイブームは？

最近、念願叶って猫を飼い始めました。黒猫のうにちゃんです。そのうにちゃんと遊ぶこと。どんなに疲れて帰ってきても、元気に遊ぶ姿を見ると癒されます。



ー 舞台メイクのポイント？

顔が立体的になるようシャドウの入れ方など工夫をしています。できるだけ線にならないようぼかし、自分の顔を生かしながらかメイクするよう心がけています。

ー 2021年に挑戦したいことは？

昨年は残念ながらコロナの影響で踊れる機会が少なくなりましたが、その分、自分自身を見直す良い時間にもなりました。できていたことはさらに伸ばし、できなかった技術や表現にも挑戦し、さらに精進した姿で今年はたくさんの舞台に立つことができれば良いなと思っています。

………
次回は庄田絢香が濱本泰然をご紹介します。

植田穂乃香が
庄田絢香をご紹介します！

- テレビ・新聞・雑誌他
- 「令和2年度文化芸術による子供育成総合事業」公演紹介
「北國新聞」10月1日
「京都新聞」10月4日
「ダンスマガジン」(新書館)2020年5月号
 - オーケストラwithバレエ～「くるみ割り人形」組曲～ 公演紹介
「公明新聞」10月21日
「カンフェティ」2020年12月号
 - 東京シティバレエ団 紹介
「公明新聞」11月4日
 - 「シティ・バレエ・サロンvol.9」公演評
「週刊オン★ステージ新聞」12月4日
 - 「ウヴェ・ショルツ・セレクションⅡ」公演紹介
「モーストリー・クラシック」2021年2月号

- WEB
- 「アウトリーチ・コンサート」プレスリリース
「PR TIMES」10月13日
 - 「シティ・バレエ・サロンvol.9」公演紹介
エンタメ特化型情報メディア「SPICE」9月15日
 - 「令和2年度文化芸術による子供育成総合事業」公演紹介
「NHK NEWS WEB」10月2日
「北國新聞」10月30日、11月9日
 - 「シティ・バレエ・サロンvol.9」公演評
児玉初穂「舞台の謎」11月26日
「The Dance Times」12月6日
 - オーケストラwithバレエ～「くるみ割り人形」組曲～ 公演紹介
「バレエチャンネル」11月27日
 - 「ウヴェ・ショルツ・セレクションⅡ」公演紹介
「カンフェティ」12月7日
「Dancers Web Magazine」12月17日